

2020

11

SHISEIKAN!

## ピュロスの勝利

小堀 翔

2007年11月の事です。小堀少年は開き直っていました。高校生活最後の模擬試験を終えましたが出来はよくありません。これでよいのです。

「ピュロスの勝利」とは、西洋古代史から生まれた故事熟語です。名将ピュロスは戦いに勝った後「再び勝利すれば、我々は完全に破滅する」と述べました。これはどういう事でしょう。彼の軍は連戦連勝ですが、アウェーの地で戦いを重ねるごとに兵は疲弊し、食料などの物資も消費されていきます。一方、敵のローマ軍はホームですので物資さらには要員の補充も行えます。すなわち、個々の戦いに勝つというすばらしい「戦術」を発揮できたとしても、最終的にローマを支配するという「戦略」は達成できそうにない、という見通しからの発言です。私はこの話を逆に解釈し、つまり模試に失敗しても最終的な志望校合格という戦略目標が達成できればそれでよいと考えることにしました。結果、様々な人の支援のもと無事進学することが出来ました。もっとも、この戦略目標が達成されたのは3月であり、それまでは相当の忍耐も必要としましたが……。

短期的な「戦術」と長期的な「戦略」についての考え方、これが2000年以上前にすでに語られていますから驚きです。九州では弥生時代が始まろうか

という頃です。最近では「なろう系」とでも総称されるでしょうか。主人公が異なる世界や時代に転生する作品がライトノベルやアニメ作品でよくみられますが、実際に飛ばされたとき、文系の知識を活かしての活躍というのは厳しいでしょう。古代ローマにおいて哲学はもちろん、今日の株式会社や失業保険に近いアイデアの経済活動もすでに行われていたようです。医・化学など理系で攻めればまだチャンスはあるかもしれませんが、現代と同じ工作精度で薬品や機械を作れるかが問題でしょう。なかなか「俺TUEEEE（古語訳：特にゲーム中などにおいて、私はなんと全知全能であろうかという優越感に浸ること）」させてもらえそうにはありません。ただ、それだけ実際の歴史の内容が豊富なのです。他にも、「テセウスの船」、「四面楚歌」、などたくさんの故事成語が生まれています。マンガやドラマのタイトルになっているものもありますね。すぐに役立つわけではないかもしれませんが、長い人生の中での考え方の参考になるような知識をじっくりと蓄えていく秋を過ごしてみたいかがでしょうか。



日	曜	11月の予定		※コロナに関する国や県、市等の方針に従い、変更になる場合があります。
1	日			
2	月			
3	火	「文化の日」		
4	水			
5	木			
6	金	グリーンランド遠足		
7	土	八代校】 オープンスクール/保護者会/ひなたぼっこの会		
8	日			
9	月	3年】 二者面談	<p>■ 大学受験科</p> <p>受験が本格化し、気持ちの面でも、体の面でも疲れが出てきている人もいます。自己管理は最重要事項なので、体や心と相談しながら、勉強に励んでください。</p>	
10	火			
11	水			
12	木			
13	金	↓		
14	土	保護者茶話会/オープンスクール		
15	日			
16	月	1、2年】 二者面談		
17	火			
18	水			
19	木			
20	金	↓	3年】 後期レポート締切（後期テスト 12/9、10）	
21	土			
22	日			
23	月	「勤労感謝の日」	<p>■ 高等学院</p> <p>志成祭が終わり、皆さんの中には一気に疲れが出てきている人もいるかもしれません。まずは疲れをとり、日常に少しずつ戻していきましょう。</p> <p>3年生は後期レポート提出締切が 11月20日（金）（後期テスト 12月9日、10日）となっております。それまでに必ず提出されてください。</p>	
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			

## カウンセラー森下の 心理学コラム



最近生徒達と話していると、やたらと『エモい』という言葉が聞くようになりました。最初は全く意味が分からず、これがジェネレーションギャップというのか…と若干のショックを受けました…。『エモい』に関しては説明すると枠が足りなくなるので、分からない方はググってみて下さい。

こういった“流行語”が生まれる背景には、【同調行動】というものがあります。これは“周囲の人たちと同じ行動を取ろうとする心理”のことで、例えば「〇〇というブランドの服が売れている」と聞くと、それまで興味もなかったのになんだか急に良さそうに見えて自分も買ってしまおう、というのが同調行動の典型例です。

同調行動は他に、“自分では間違っていると思っていても、他のみんなが賛成していたら意見を合わせてしまおう”“行列を見るととりあえず並んでみたくなる”といった場面でも見られます。皆さんも一度は経験があるのではないのでしょうか。

いまこの文章を書きながら思ったのは、教育現場ではこの【同調行動】を求められることが多いな、ということ。もちろん、“みんなと同じ”という安心感を得ることができますし、“協調性”を身に付けることは集団生活を送る上で大切なので、必要なことだとは思いますが。しかし“自分の意見”や“個性”といったものは見えてきにくいのかな、と思います。

流行の言葉を使いながら周りと同調の安心感を得つつ、自分なりの言葉や表現方法で発信できる環境があるといいですね。

## 志成祭を終えて

高橋陽子



10月25日、お天気にも恵まれ『志成祭』が開催されました。数年前から、地域貢献の意味も含めて「味噌天神宮大祭」と合同で開催されてきましたが、今年は初の、日曜日開催になりました。また、コロナ禍で例年、行われていた味噌の配布もなくなり、駐車場だけでなく、初めて、味噌天神公園も使った開催でした。

最初はいつも大丈夫かな？と心配するのですが、毎年、こちらの心配を打ち消すような結果で、たくさんの感動をもらえます。

様々なイベントを通して、生徒の成長する姿を目の当たりにしますが、なかでも『志成祭』は、その感を強くします。

保護者の方の参加も多く、卒業生もたくさん来てくれ、盛会のうちに終えることが出来ました。

そして、志成館の近所の方々からも、お褒めの言葉をたくさんいただき、今後、益々、地域との連携を深くしていけたらと思います。

今年はコロナ禍での開催になり、心配もありましたが、みんな楽しんで、みんなで感動できる『志成祭』がこれからも、長く続くことを願います。

## しばたの たびにつき。

Shibatano - tabiniki

僕が初めて旅に出たきっかけの話をします。19歳の夏、もう6年前の話です。当時、大学1年生の僕は、長い大学の夏休みを持って余っていました。ある日、アルバイト先の店長から「1人旅に行つてこい。」と言われました。アルバイトを始めたころから、ヒッチハイクで東京まで行ったや原付で九州一周したなど先輩たちの武勇伝は聞かされていました。もともと話すことは好きではなく、何かに挑戦することは避けてきた人間でしたから、当時の自分にとっては到底真似もできるはずがありません。ところが、話を聞いてみると先輩達もなにも最初からそんなぶつとんでいたのではなく、もとは僕とあまり変わらなかったというではありませんか。さらに聞いてみると、どうやら店長にそそのかされて何かに挑戦してみた結果が今だ、と。最初は小さなことから、少しずつできることを増えやしていき、気づいたらいろんなことをやっていたそう。そして、それをいつも楽しそうに自分の経験談を話してくださいました。そんな先輩方に憧れたのか、武勇伝を話してみたかっただけなのかよく覚えていませんが、感化された僕は旅に出ることにしました。それがきっかけです。

その最初の旅の話は、以前志成館のブログの中で“おすすめの本の紹介”の際に少し触れています。ある人との出会いとその本との出会いについてです。人との出会い、新たな価値観との出会い、僕にとってはそれがすごく刺激的でした。そういった話をつらつらと書いていこうかなと思います。

## 奥深いフォークの世界 by 沖住



あ、沖住です。一体何人の方がこのコラムをお読みなのでしょう？「このコラムだけ飛ばして読まれているのではないかな？」そのような不安が胸を襲います。新型コロナに関連する世界規模の不安ももちろんありますが、今の私にとってはそれ以上に、このコラムに関する不安の方が大事なのです。

1972年に、このような「社会的な問題よりも個人的な事象の方が大事」ということを歌ったとされる歌が発売されました。井上陽水「傘がない」です。

都会では自殺する若者が増えているという社会問題があるが、今の自分にとっては雨の中彼女に会いに行くための傘がないという問題の方がより重要である。という歌である。

学生運動の敗北を経て、若者が個人主義になっていく時代を風刺した歌と解釈されました。ただこの歌の主人公は、「傘がないのに、彼女に会いにいけないといけない」という感じで、あまり会いに行きたくなさそうなんです。これもこの歌の面白いところだと思います。

「 テレビでは 我が国の将来の問題を  
誰かが深刻な顔をしてしゃべっている  
けども 問題は今日の雨 傘がない 」



# 志成館・ぐるぐるログ

10月25日(日)、味噌天神公園まで使用した志成館史上最大規模の大文化祭「志成祭2020」が行われました。千紫万紅(色とりどりの花が咲き乱れている様子)をテーマに掲げ、それぞれの個性が発揮された素晴らしい文化祭でした。



## 《カウンセリングのご案内》

志成館にはカウンセラーが常駐しています。困っていることや悩んでいることなどあれば、生徒本人・保護者・家族関わらず、お気軽にご相談ください。【熊本校】清田一弘(心理療法カウンセラー) 【八代校・人吉校】森下華奈(メンタル心理カウンセラー)

 志成館

日本航空高校【熊本キャンパス】  
志成館高等学院  
志成館【高認受験科】  
志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>